



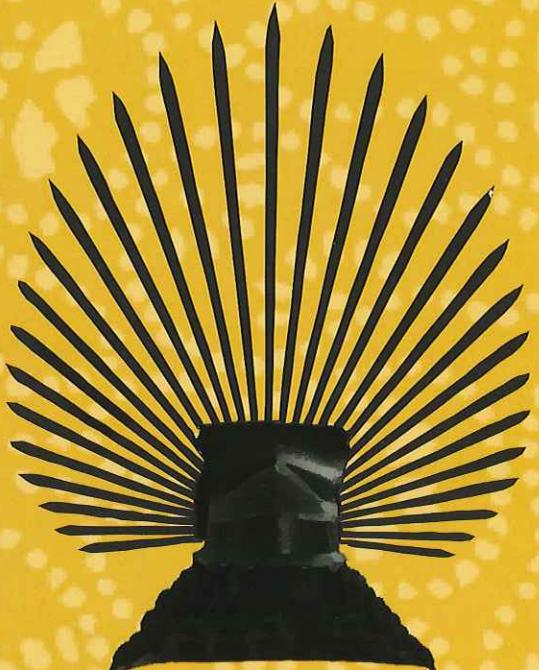
まち歩きアプリで歴史探索



ジオパークとは、地球活動の遺産を主な見どころとする自然の中の公園です。  
石垣山城の野面積の石垣は、安山岩やディサイトと呼ばれる火山岩の一種で構成されており、箱根ジオパークの見どころ（ジオサイト）の一つです。



# 石垣山 一夜城



## アクセス

**自動車** 国道1号 横浜方面から  
板橋交差点を左折  
ターンバイク入口交差点を左折  
国道135号 热海方面から  
早川交差点を左折  
(小田原方面からは右折不可)  
国道1号 箱根方面から  
地球博物館前交差点を右折 (バス等大型車はこちらから)

新幹線ガード下  
から石垣山農道へ  
(バス等大型車通行不可)

MAPCODE® 57 255 716 \* 55

対応機種（カーナビ・PC・携帯電話）お持ちの方はご利用ください。

**徒歩** JR早川駅から石垣山農道を経て徒歩約50分  
箱根登山鉄道入生田駅から徒歩約60分

**タクシー** 小田原駅から約15分 約2,000円  
早川駅・箱根板橋駅から約10分 約1,500円  
早川駅・箱根板橋駅にはタクシーは常駐していないので、電話でお呼びください。

**お問い合わせ**

小田原城総合管理事務所

TEL0465-23-1373

HP : <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/>

# 石垣山城

石垣山城は、「笠懸山」あるいは「石垣山」と呼ばれる箱根から派生する山上にあります。

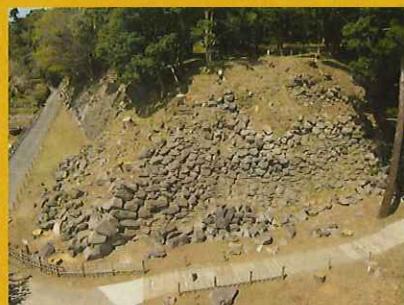
関白豊臣秀吉が天正18年（1590）の小田原合戦の際に築いた陣城で、徳川家康の家臣松平家忠の記した「家忠日記（六月二十二日）」に「石かけの御城」とあることから「石垣山城」と呼ばれています。



## 本城曲輪の石垣

この辺りの石垣は20mを超える高さで築かれており、石垣を築いた穴太衆の技術の高さがうかがえます。

小田原城から見える面のため、小田原北条氏を驚かせた石垣の一つでしょう。



## 南曲輪の石垣

この辺りでは、城としての役割を終えた際にお城の一部を壊す「城割り」という作法の痕跡が確認できます。虎口（お城の入口）や石垣の隅が崩れているのは、そのためです。



# 小田原合戦と一夜城伝説

小田原北条氏を攻めることを決意した関白豊臣秀吉は、天正18年（1590）3月1日に京都を出発し、4月3・4日には小田原城の攻囲を開始しました。そして、4月6日には早雲寺（箱根町）を本陣とし、その日のうちに笠懸山（石垣山）に登って小田原城を眺望しました。

周囲9kmにわたり、壮大な堀と土塁で周囲を囲んだ小田原城を攻略にいするのは難しいと判断した秀吉は、長期戦の構えでこの場所に城を築くことを決めます。

普請は急ピッチに進み、5月14日には石垣ができ、広間・天守などの作事に取り掛かります。6月9・10日には伊達政宗が普請中の石垣山で秀吉に伺候します。その時政宗は、前日に無かつた白壁を「紙を貼ったもの」と見破り、秀吉を初めとする諸将に賞賛されています。

6月26日、秀吉は石垣山に本陣を移しました。それを期に、秀吉は小田原城へと一斉に鉄砲を撃ちかけさせ、小田原北条氏方を脅かしました。

このような秀吉の行動や政宗と白壁の逸話が、「小田原城を遮る大樹を悉く斬る。小田原城中より是を見て、笠懸山に附城一夜に成就せるに驚く」（『大三川志』）や「面向きの松の枝ども切りすかしければ、小田原勢肝をつぶし、こはかの関白は天狗か神か、かやうに一夜の中に見事なる館出来けるぞや」（『北条記』）などという、一夜城伝説を生んだのです。

一夜城伝説の真意はともかく、人員を大量動員した築城を可能とする秀吉の権威と財力が、小田原北条氏が降伏する決定打となつたのです。

